

謹啓 早春の候ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本市では、東日本大震災発生以降、被災した市民のために災害義援金を受付けてきましたが、震災から10年の節目を迎えたことなどから、令和3年3月31日をもって受付を終了いたします。

お寄せいただきました義援金は、被災世帯へ直接お配りし、被災者の生活支援に活用させていただきました。

これまでの長期に渡り、本市に寄り添い、温かい御支援と御協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

先の大震災で、本市は一瞬で多くのものを失いましたが、全国・全世界の皆様からの多くの御支援と、市民の努力と協力により、着実にまちの再興が進んでおります。

おかげさまでこの間、県内の三陸沿岸道路全線開通、大島架橋の開通、新魚市場や水産加工集積地等における企業の本格稼働、震災遺構・伝承館や内湾各施設のオープン、気仙沼市復興記念公園の開園など、まちは力強く変貌を遂げ、復興事業も防潮堤や道路の整備、社会教育施設の復旧工事など一部事業を残すまでとなっております。

また、今年度には、仮設住宅の全入居者が退去し、被災した市民の住宅再建もおおむね完了する見込みであり、震災発生から10年の歳月を要しましたが、一つの区切りを迎えることができました。

これもひとえに、御支援いただきました皆様の温かいお気持ちがあったからこそと深く感謝しております。

今後は「復興のその先」をしっかりと見据え、大震災で犠牲になられた方々に胸を張って報告できるような「気仙沼づくり」を力強く進めてまいりますので、末永く、本市を見守りいただければ幸いに存じます。

結びに、本市が被災した折に御支援いただきましたことに、改めて御礼を申し上げますとともに、皆様の御健康と御活躍をお祈り申し上げ、書面ではございますが御礼といたします。

謹 白

令和3年3月吉日

気仙沼市長 菅 原 茂